

自己点検・評価

日本語教育機関名： 国際未来学院

点検・評価実施日： 2026年4月1日

実施担当者名(役職)： 校長 紀平 佳奈子 教務主任 住岡 真由美

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取り組みを検討中 1:改善が必要

評価項目		評価
1 教育理念・教育目的		
1-1	学校の理念、目的・目標が明確となっているか	5
1-2	学校の育成する人材像が明確となっているか	5
1-3	学校の理念、目的・目標が社会のニーズに合致しているか	5
2 学校運営		
2-1	学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか	5
2-2	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	5
2-3	学校の組織運営や人事、財務管理に関する規定や意志決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	5
3 教育活動		
3-1	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	5
3-2	成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか	5
3-3	教育課程や成績評価、進級、修了の判定基準は適切に運用されているか	5
3-4	教員の指導力向上のための取り組みは行われているか	5
3-5	教育課程の改善のための取り組みが行われているか	5
3-6	教職員評価を行っているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

教育課程は教務主任を中心に学期毎に生徒に合わせて見直しているが、教育理念に沿ったものになるようにしている。

成績等の評価は一むは定期試験の得点に加え、授業態度及び活動の様子、課題物提出、出席率などを見て総合的に判断し、授業担当教員が評価を行う。教員に対しては教務主任による授業見学や校内外の研修などを通して、教員としての自覚や教育技術向上を目指している。

4 学修成果		
4-1	生徒の日本語能力の向上が図られているか	5
4-2	生徒の日本語能力について適切に把握されているか	5
4-3	生徒の進路を適切に把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

各試験対策を含め、四技能を万遍なく学ぶカリキュラムを構成しており、試験に対応できる日本語力の習得と日本での生活において有用で実用的な日本語能力の向上に力を入れている。

生徒の日本語能力については、各教員が毎日記している授業記録や学校のチャットグループなどで、各クラスの授業担当教員が共通理解を有している。また、担任は学生との面談を通じて進路希望を把握し、生徒の専門性や経歴に沿った指導を行っている。

5 生徒支援			
	5-1	生徒に対する学習相談の支援体制が整備されているか	5
	5-2	生徒に対する進路の支援体制が整備されているか	5
	5-3	生徒の健康管理について支援体制が整備されているか	5
	5-4	生徒の日本での生活指導の支援体制が整備されているか	5
	5-5	防災や緊急時における体制が整備されているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

ホームルーム担当教職員により定期個別面談を実施し、個人の進路、授業、学校生活のサポートを行っている。

生活指導については、母国語や英語による入学時の PPT を使用したオリエンテーションでごみの出し方や交通ルールなど、日本で生活していく上でのマナーや習慣について理解させるよう取り組んでいる。進路支援には早期の情報管理と進学・就職準備への動き出しを支援し、外部の進学説明会への引率や、学校選択、出願書類作成、面接対応などの基本的な知識に指導を行い、担任教員との面談指導を行い、本人の希望を十分に踏まえた進学先の紹介を行っている。健康管理については、年に一度の健康診断（X線を含む）を実施し、予防管理を徹底している。病気ケガの際には、できる限り職員が病院に同行し、サポートを行っている。医療費の負担が軽減されるよう留学生保険に加入している。3か月に1度、進路や生活、アルバイトについての調査を全学生対象に行うなど最新の情報把握にも努めている。

6 教育環境			
	6-1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	5
	6-2	使用する教材は適切か	5
	6-3	学習効率を高めるための環境整備がなされているか	5
7 入学者の募集			
	7-1	入学者の募集は適切に行われているか	5
	7-2	入学者募集の際に学校の情報は正確に伝えられているか	5
	7-3	授業料等は適切か	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

特定の国籍に偏ることなく多国籍かつ国籍バランスを重視し、学生募集は長年の受け入り実績を有する仲介エージェントを中心とすることで向学心の高い学生の応募者に対応するため Teams や ZOOM を利用したオンラインでの留学説明会を行っている。その後、入学希望者については個別に学校職員が面接を行い、学校が規定した選考基準に基づき、学習目的、日本語能力、経費支弁能力において基準以上であると判断した学生を選考している。学校情報については、パンフレット、ホームページで紹介し、学校での日常や行事が分かるよう SNS を利用して随時発信している。

8 財務			
	8-1	中長期的な財務基盤は安定しているか	5
	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	5
	8-3	財務について会計監査は適切に行われているか	5
	8-4	財務情報の公開の体制はできているか	5
9 法令遵守			
	9-1	出入国管理及び難民認定法及び各種関係法令等の遵守が行われているか	5

	9-2	出入国管理及び難民認定法及び各種関係法令等に基づいて適切に運営できているか	5
	9-3	個人情報の保護について適切に取り組みがなされているか	5
	9-4	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	5
10 地域貢献・社会貢献			
	10-1	日本語教育機関の資源や施設を利用して社会貢献・地域貢献を行っているか	4
	10-2	生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などを行っているか	4
	10-3	書類発行に関する事項（成績証明書・在籍証明書・卒業証明書等）	5
	10-4	奨学金（学習奨励費を含む。）に関する情報	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

ボランティア活動（大掃除）や社会見学（工場見学）等を年間予定に組み込み実施している。本校は大阪経済大学と連携して、地域の方々と交流できる異文化交流イベントをしました。住宅街に位置しているという点から、地域とのつながり大事にし、共生社会を築く方針をうち立てている。しかしながら文化の違いから起こる誤解などが生じるケースもあり、それを改善していき地域住民に理解される日本語学校となるのが今後課題である。その取り組みの一環として、全面的に学校校内及び周辺での喫煙の禁止を開始した。

11 卒業生の状況の把握			
	11-1	卒業生の状況を把握するための取組を行っている。	5
	11-2	卒業後の進路を把握している。	5
	11-3	進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握している。	5